

JSRのマテリアリティ

JSRのマテリアリティは、事業活動と経営基盤の2つの側面から策定しています。2021年3月に発表した中期経営方針においてもこの内容を反映し、レジリエントな経営基盤の中核をなすものと位置づけています。

また、マテリアリティは、社会からの要請の変化、さまざまなステークホルダーからの意見やニーズによって変わっていくものです。今後もマテリアリティの見直し・特定を行っていきます。

マテリアリティ見直し・特定の運用について

- ① 適切なタイミングで、有識者、従業員、レスポンスブル・ケア活動などでのエンゲージメントを通して妥当性を確認する
- ② 新たな中期経営方針策定のタイミングで、有識者の方々との意見交換を通して、マテリアリティを特定する過程の透明性や納得性を確保しつつ定期見直しを実施する

特定プロセス

事業活動

各事業部ヒアリング調査

4事業部ごとにポジティブ・ネガティブインパクトについてヒアリング調査とディスカッションを実施

デジタルソリューション事業

ライフサイエンス事業

エラストマー事業

合成樹脂事業

事業部合同ディスカッション

JSRグループとしてポジティブ・ネガティブインパクトを把握

4事業をまとめ
グループ全体として
ネガティブ・ポジティブ
両インパクトをまとめる

経営基盤

若手社員による 2回のワークショップ

専門部署に偏らない多様性のバランスも配慮した若手社員10名によるJSRの重要活動テーマの優先順位の検討を行った

環境

従業員 (DE&Iと働き方)

安全・健康

人権

上記が抽出された。

専門部署ではない全社的な社員の言葉として貴重な意見が収集できた。

専門部署を交えた ワークショップ

2回のワークショップの結果を受けて、専門部署を交え主要課題の「環境」と「従業員」に対する深掘りのワークを行った

サプライチェーンに関わる各部署の部長級7名による意見交換

専門部署と他部署社員との意見交換

マテリアリティ

事業活動

事業ごとに推進 アウトカムのインパクト

生活の質・幸福への貢献

健康長寿社会への貢献

地球環境保全への貢献

経営基盤

グループ全体で推進 5つの重要課題

環境保全・負荷低減

従業員 DE&I 働き方

安全・健康

人権尊重

サプライチェーン

コーポレート・ガバナンス